



# ひびき

◆ゆたかなかわりを求めて  
夢や希望をもち  
未来をひらく子ども

よく考えて行動しよう～自分のこと・仲間のこと～

校長 渡邊 芳久

「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」を文部科学省が公表しました。

まず、「学校において認知したいじめの件数」（小・中・高・特別支援学校の総計）では、新潟県は、児童生徒1,000人当たりの認知件数が97.4件。全国平均の47.7件を大きく上回り、全国第2位でした。県では、様々な活動が徐々に再開されたことにより、児童生徒同士の接触の機会が増加した影響とともに、積極的な認知に努める意識が定着している成果と考えられる。今後も積極的ないじめ認知と法令理解を進める必要がある。と分析しています。

次に、「児童生徒の暴力行為\*の発生件数」（小・中・高等学校の総計）です。新潟県は、児童生徒1,000人当たりの発生件数が13.5件。これも全国平均の6.0件を大きく上回り、全国1位の数値でした。県では、暴力行為の発生件数は、特に小学校で著しく増加し、高等学校では減少した。新型コロナウイルス感染症の影響からか、ストレスを抱える児童生徒が増えたことや児童生徒同士の接触の機会が増加したことなどが一因と考えられる。と分析しています。\*「対教師暴力」「生徒間暴力」「対人暴力」「器物損壊」

最後に、不登校の状況です。小・中学校の「児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数」は、全国25.7人に対し、新潟県は24.1人と全国平均を下回りました。なお、高等学校は全国16.9人に対し18.8人とやや全国平均を上回っています。県では、生活環境の変化により生活リズムが乱れやすい状況や、学校生活においても様々な制限がある中で交友関係を築くことなど、登校する意欲がわきにくい状況にあったことも背景として考えられる。と分析しています。

本校でも、数値としては全国平均まではいきませんが、全国、新潟県と同様の課題があります。

そこで、12月の全国人権週間に合わせ、人権擁護委員の方々を学校にお招きをして、人権教室を開催する予定です。低・中・高学年のそれぞれにふさわしい教室になるよう、3日間に分けて行おうと考えています。

なお、標題の「よく考えて行動しよう～自分のこと・仲間のこと～」とは、一小的、11・12月の生活目標です。

第74回 人権週間  
12月4日～10日 12月10日は人権デーです。

「誰か」のことじゃない。

法務局では、人権侵害による被害を受けた方を救済するための活動を行っています。

みんなの人権110番  
0570-003-110  
0570-070-810  
0570-090-911

インターネット  
人権相談窓口  
<https://www.jinken.go.jp/> (パソコン・スマートフォン)  
法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会